


## 【作り方説明書】

## ショートジャケットの型紙【40,45cm ソフビ】

<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・40cm ソフビ</li> <li>・45cm ソフビ</li> </ul>	<p>■難易度</p> <p>イージー/ノーマル/ハード/【ハード↑】/エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>0.43mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通～やや薄手の生地</li> <li>・スナップボタン</li> <li>・飾りボタン</li> </ul>
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>フラップとポケットは、縫い代線より大き目に布を切り取って下さい。</p> 
<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①裾パーツ 1枚→そのまま1枚</li> <li>②③後脇 2枚→左右反転して2枚</li> <li>④⑤前脇 2枚→ //</li> <li>⑥⑦前身頃上 2枚→ //</li> <li>⑧⑨袖 2枚→ //</li> <li>⑩⑪カフス 2枚→ //</li> <li>⑫⑬前立て 2枚→そのまま2枚</li> <li>⑭⑮前身頃 2枚→左右反転して2枚</li> <li>⑯⑰フラップ 2枚→そのまま2枚</li> <li>⑱⑲ポケット 2枚→ //</li> <li>⑳㉑襟 2枚→ //</li> <li>㉒後身頃上 1枚→そのまま1枚</li> <li>㉓後身頃 1枚→ //</li> </ul> <p>合計：23枚 のパーツで構成</p>	

■必要な布量参考数値

## 【ショートジャケットの型紙 40cm】

横90cm

縦22cm



## 【ショートジャケットの型紙 40cm】

横110cm, 140cm

縦18cm



## 【ショートジャケットの型紙 45cm】

横90cm

縦23cm



## 【ショートジャケットの型紙 45cm】

横110cm, 140cm

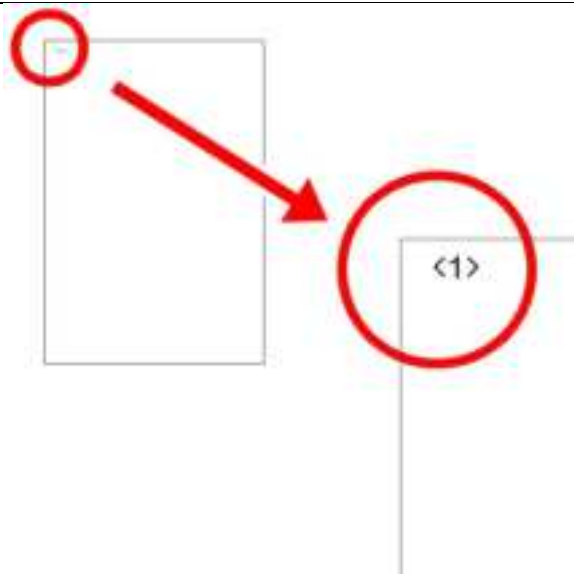
縦20cm



## 01. 型紙を貼り合わせる

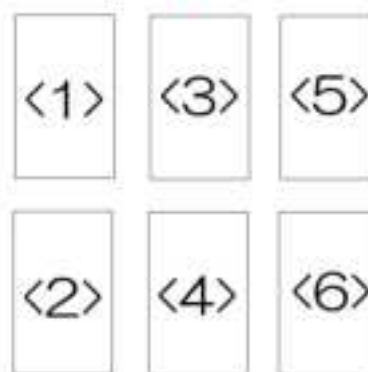
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載  
 ※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。  
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。  
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。〕

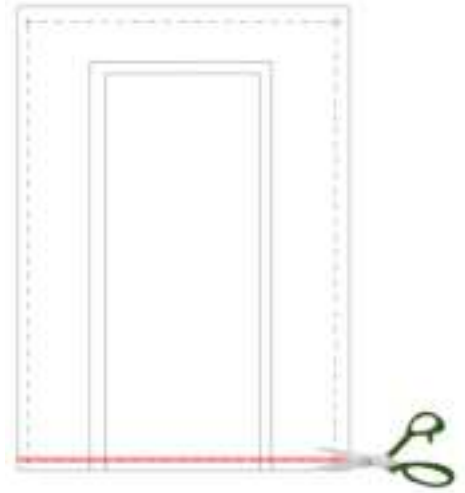


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

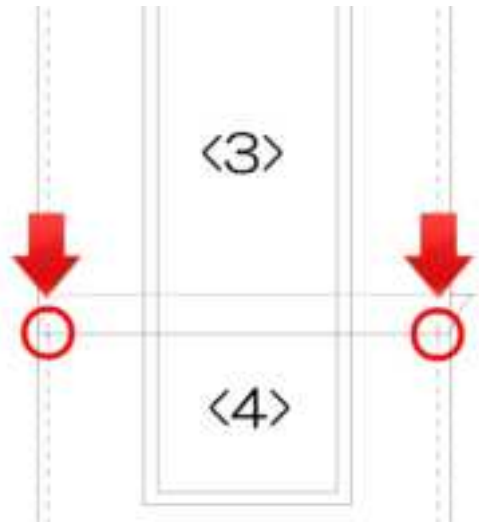
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。〕



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

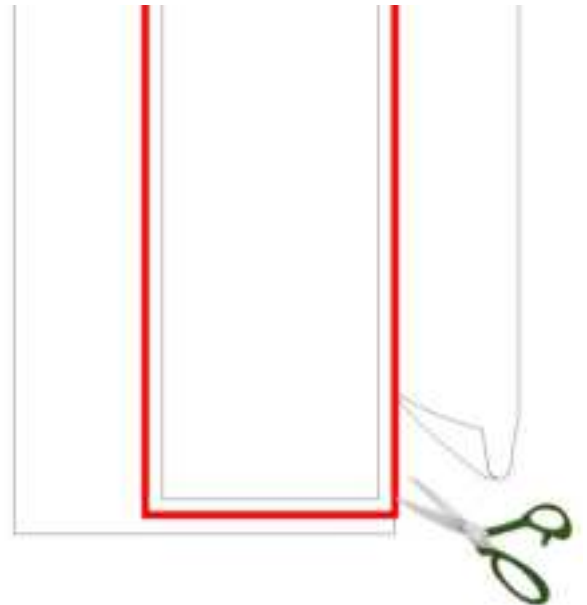


④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



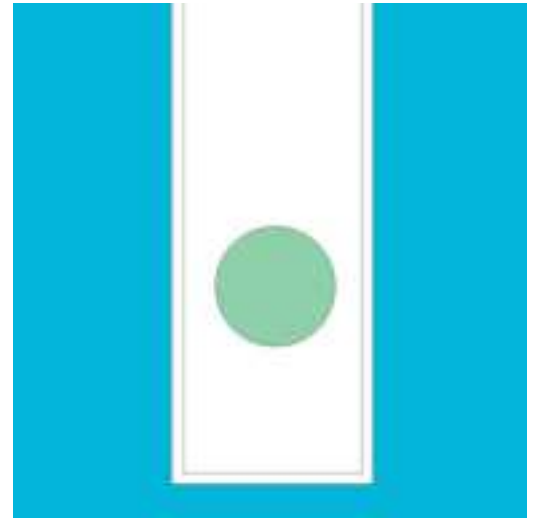
02. 型紙を切り取る。

〔 02～07 の図は全型紙共通で使用しています。〕



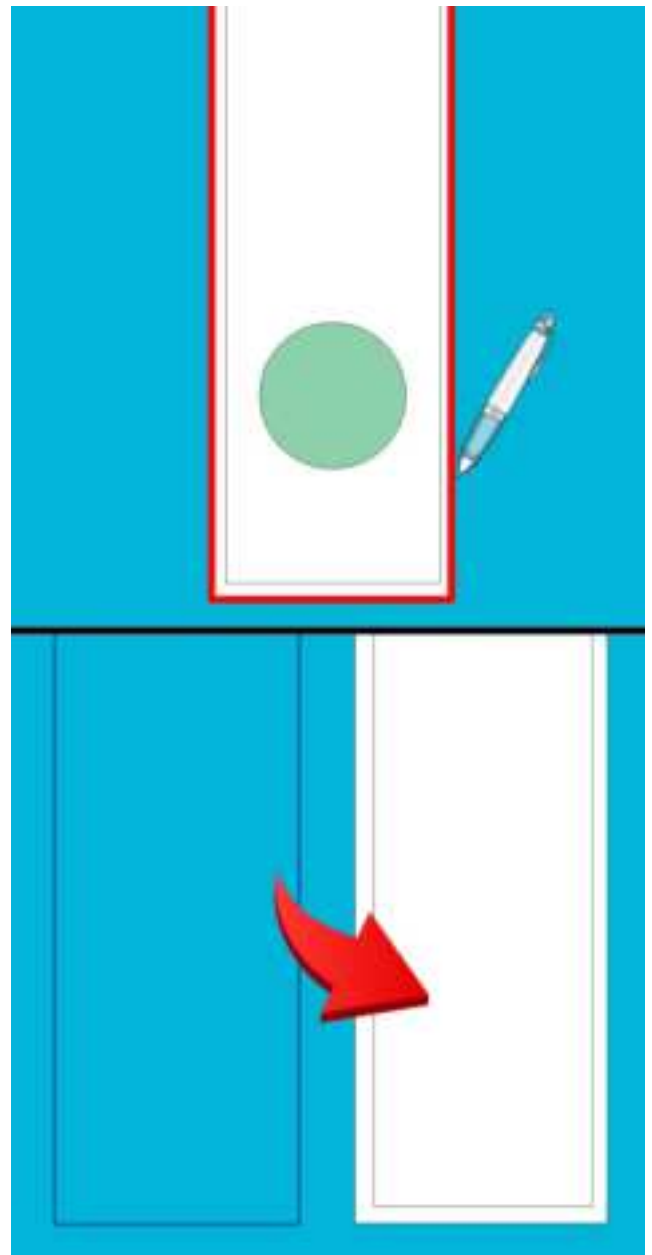
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕

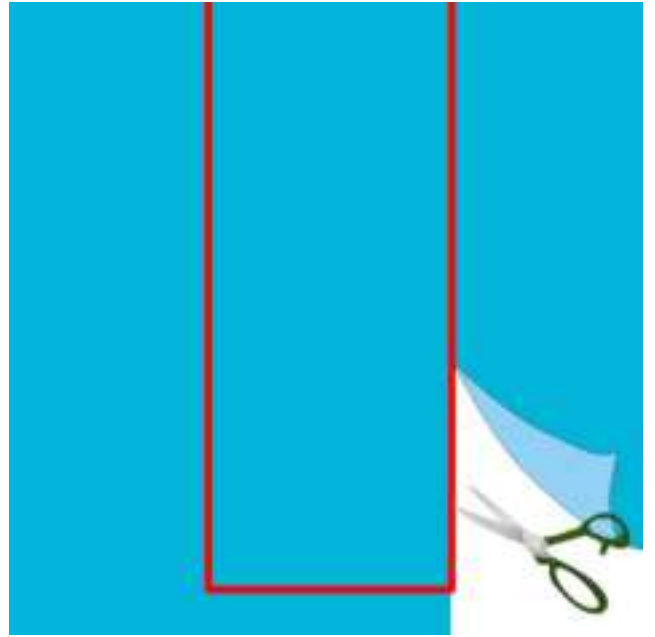


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン  
・カリスマシャープペンシル(使用中)  
・クロバー 水性チャコペン〕

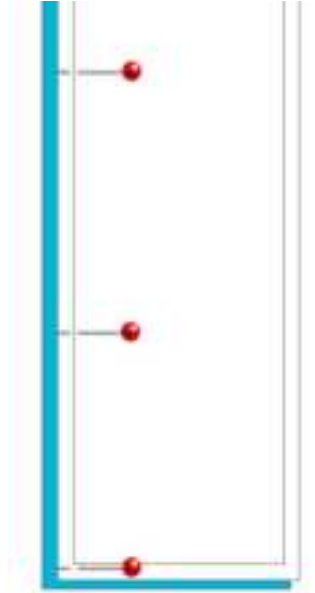


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔型紙と布がずれないようにするだけなので、  
細かくとめる必要はない。〕



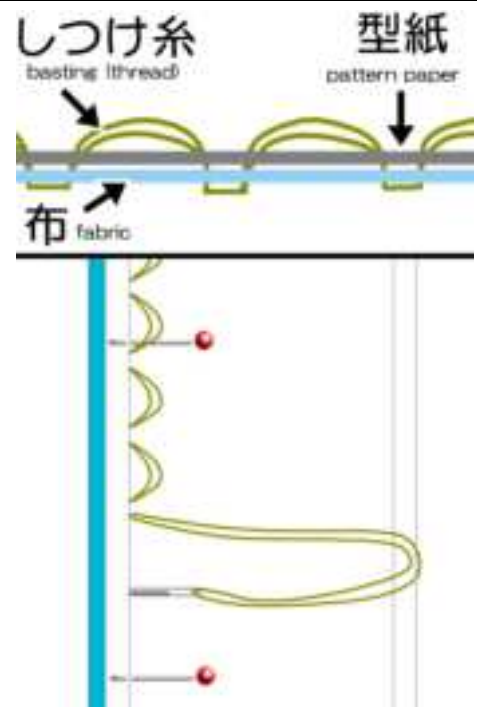
## 07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。  
〔玉止めはしない。〕



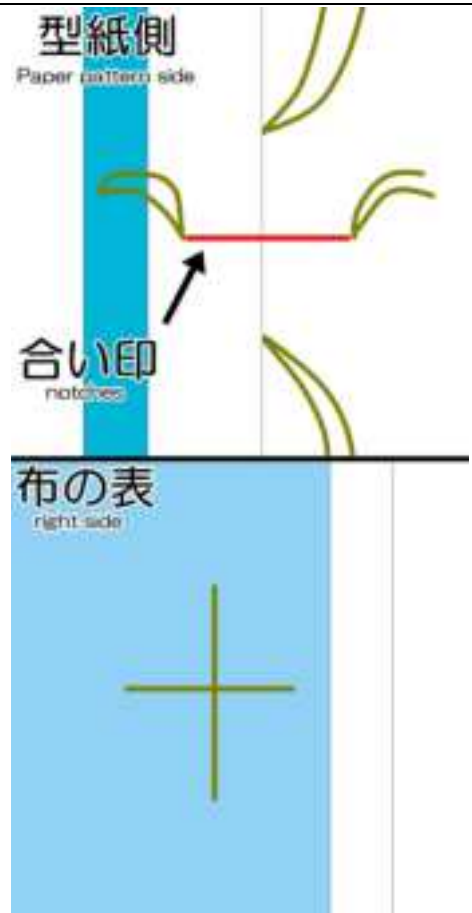
- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。  
A. 型紙から刺す  
B. 布を刺す  
C. 0.3cm 程度すくうように縫う  
D. 型紙を刺す  
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す  
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。  
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て  
+ に見えるように針を刺す。





④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



08. フラップとポケットに解れ止め液を塗る。

40,45cm ソフビの”ポケット”の上は縫い代がないので、  
解れ止め液を付け過ぎないように注意する。  
液を少量器の上に出し竹串等の先につけ、  
少しずつ生地に塗布すると付け過ぎを防止できる。



※解れ止め液の代わりに、半田ごてで布を溶かして切る方法もある。



09. 襟 1 枚の身頃側をアイロンで折る。

〔 SNP、BNP という記載がある 方が身頃側になる。  
 SNP:サイドネックポイント。襟ぐりの肩の場所。  
 BNP:バックネックポイント。後の襟ぐりの中心。〕



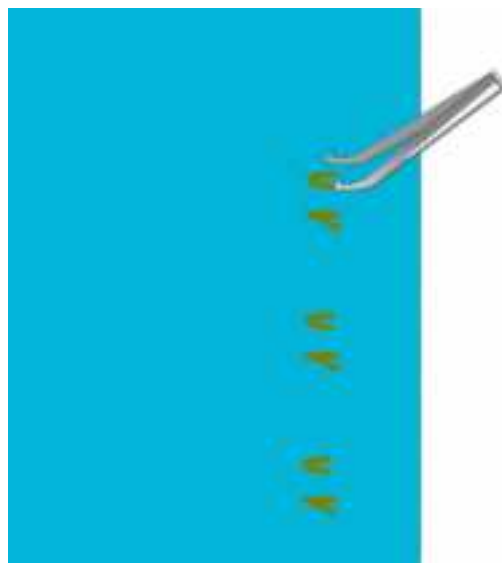
10. 表が内側になるように、襟を合わせて縫う。

〔 09 の襟の縫い代は折ったまま縫う。〕



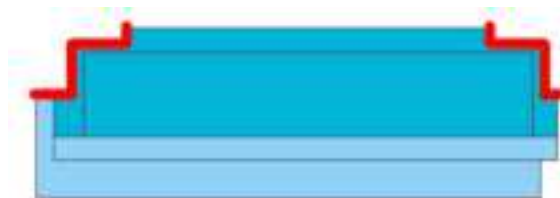
11. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔 しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。  
 以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



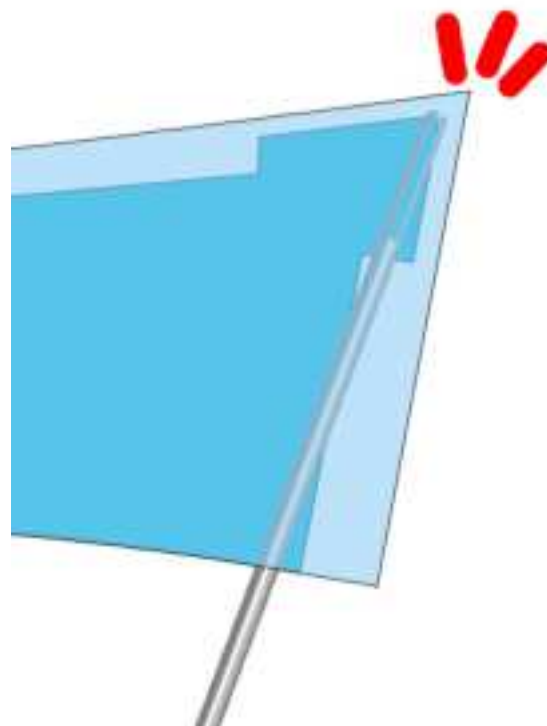
## 12. 角を切り落とす。

10で縫ったところから、3mmくらいのところを切る。  
縫い代の角を切り落としておかないと、仕上がりが悪くなる。



## 13. 表に返して角を優しく押し出す。

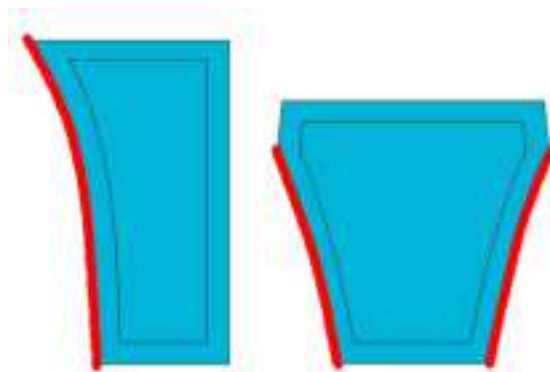
布団等の太い針を使う。  
ない場合は竹串やつまようじの“尖っていない方”などでも代用出来る。  
あくまでも優しく内側から押して角を出す。  
強く押ししたり、尖ったもので押ししたりすると貫通し 布が傷む可能性も。



## 14. 表に返してアイロンをかける。

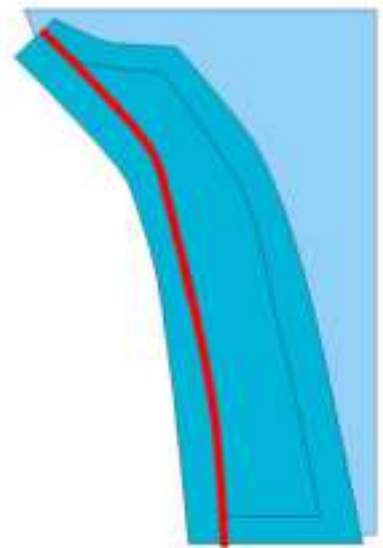
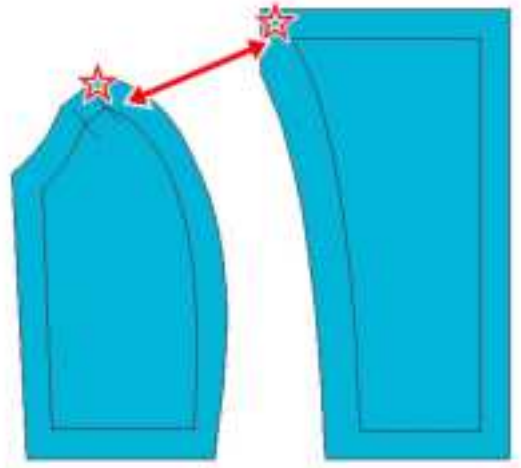


## 15. 前身頃×2、後身頃に切り込みを入れる。



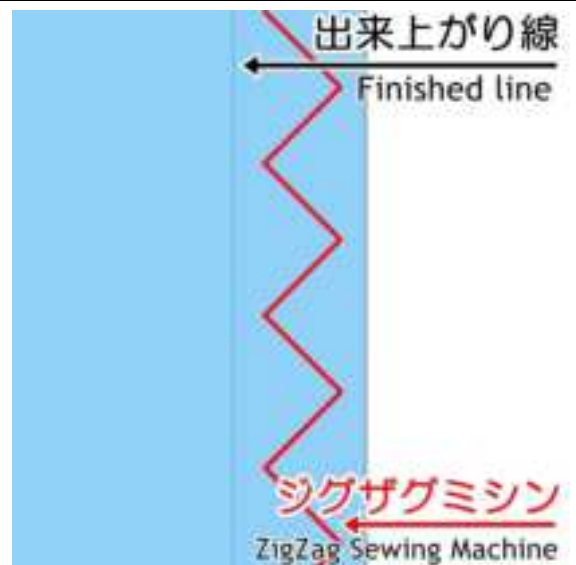
16. 表が内側になる様に、前身頃と前脇を合わせて縫う。

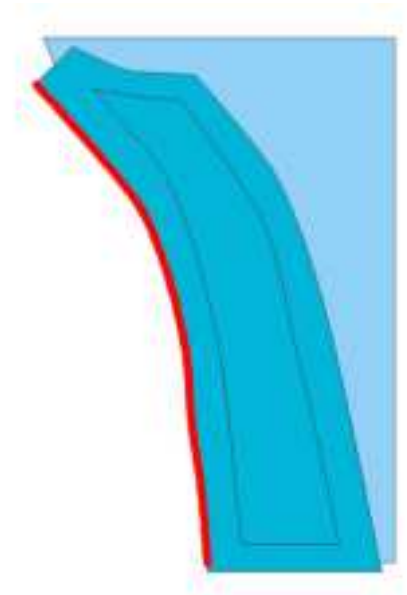
- 〔 ☆同士を合わせる。  
反対側も同じように縫う。〕



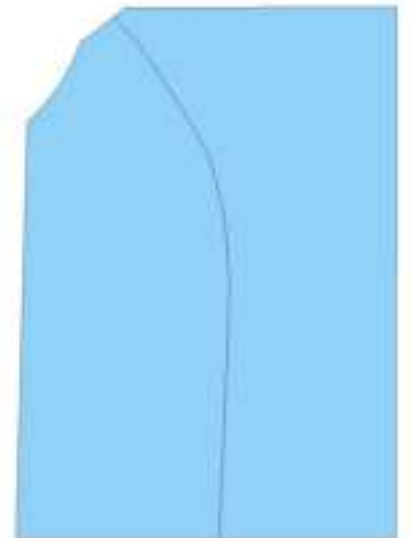
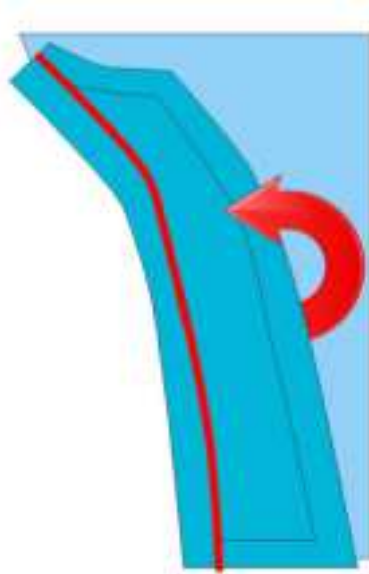
17. 2枚一緒にロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 〔 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。  
布端から針が落ちない様に、少し内側を縫う。〕





18. 16で縫ったところを開く。  
〔反対側も同じように開く。〕



19. 縫い代を前身頃側に倒す。  
〔反対側も同じように倒す。〕

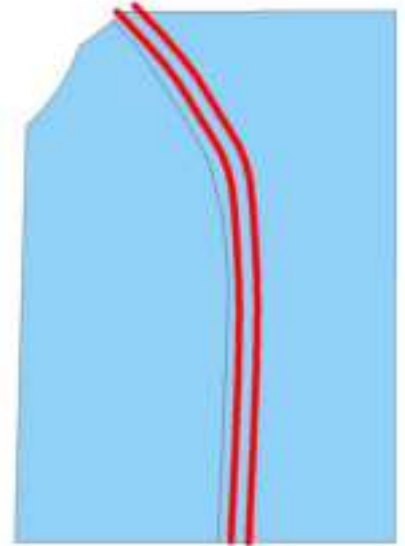
横から見た時  
side view

前身頃  
front bodice



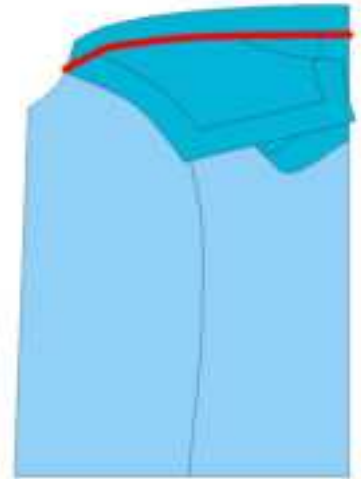
20. 表から縫い代を抑える様に縫う。

〔この工程は省いても OK。省く場合はアイロンをかける。  
反対側も同じように縫う。〕



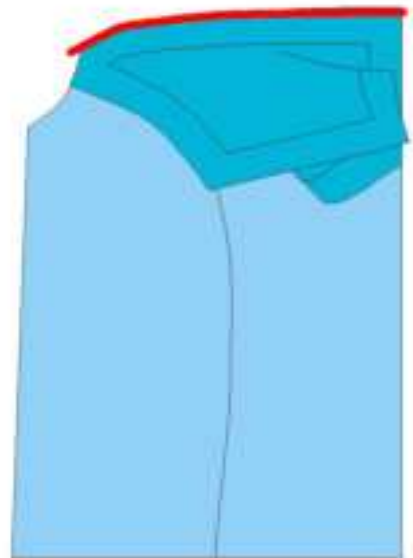
21. 表が内側になる様に、20 に前身頃上を合わせて縫う。

〔反対側も同じように縫う。〕

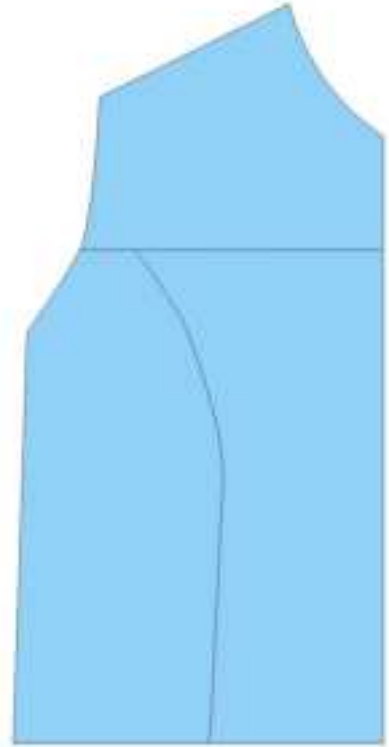
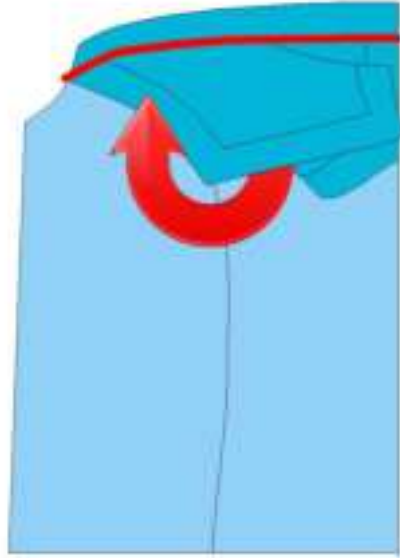


22. 2 枚一緒にロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

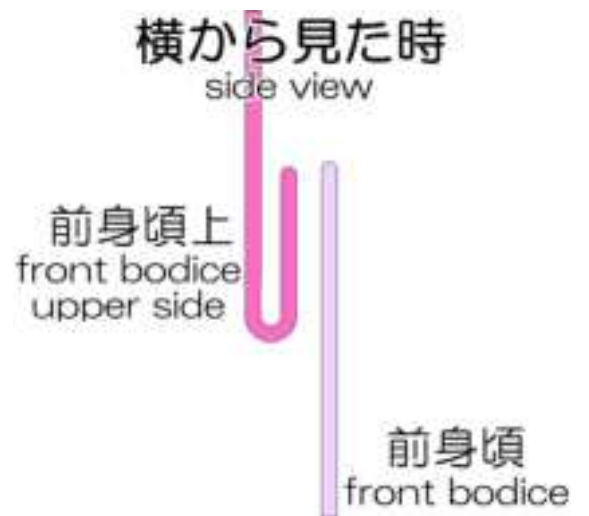
〔反対側も同じように縫う。〕



23. 21で縫ったところを開く。  
〔反対側も同じように開く。〕



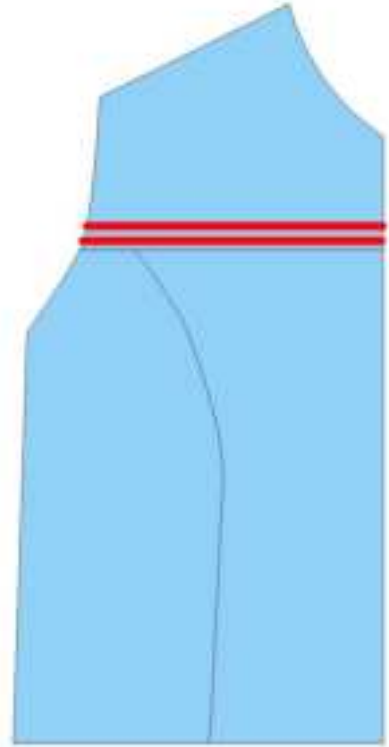
24. 縫い代を前身頃上側に倒す。  
〔反対側も同じように倒す。〕



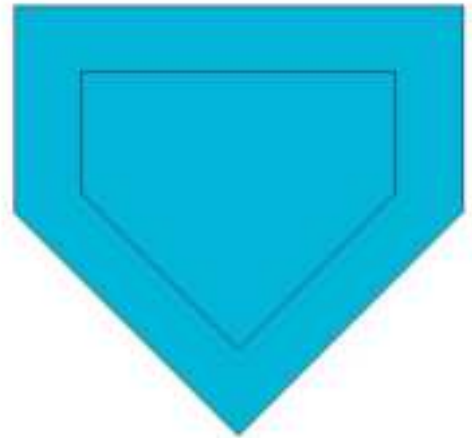


25. 表から縫い代を抑える様に縫う。

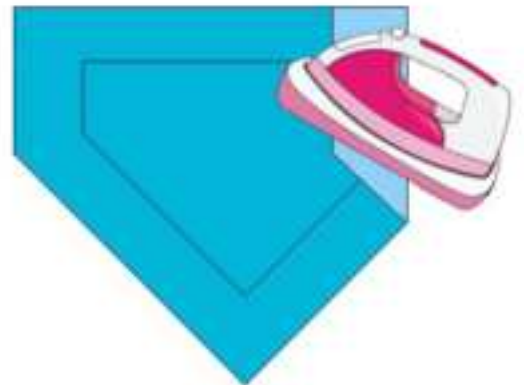
〔この工程は省いても OK。省く場合はアイロンをかける。  
反対側も同じように縫う。〕



26. フラップ×2 とポケット×2 を縫い代線で切りとる。

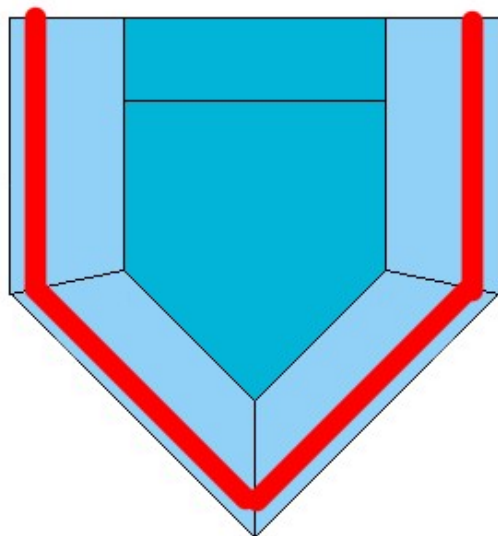


27. フラップ×2 の縫い代をアイロンで折る。

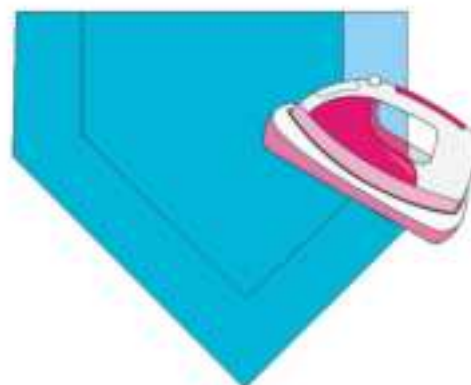


28. フラップ×2 を仮縫いをする。

〔仮縫いの玉止めは、表側にしておくと  
後の作業が楽になる。〕

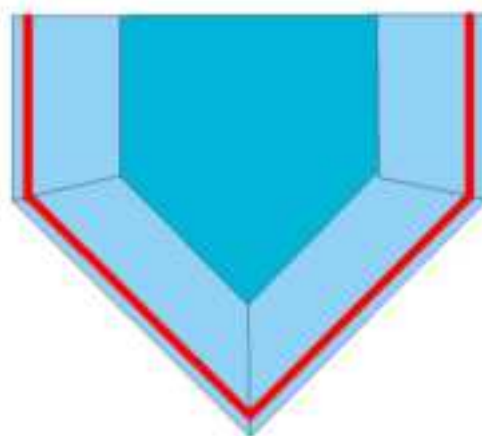


29. ポケット×2 の縫い代をアイロンで折る。



30. ポケット×2 を仮縫いをする。

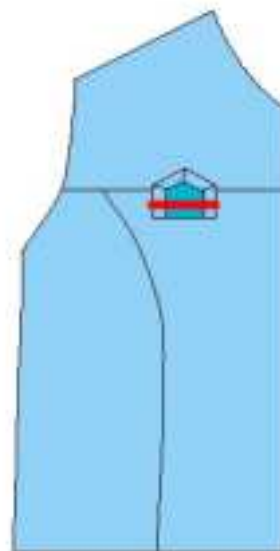
〔仮縫いの玉止めは、表側にしておくと  
後の作業が楽になる。〕





31. 前身頃にフラップを縫い付ける。

縫い付ける位置が表からでは分かり辛い時は、消えるチャコペンで薄く表から縫い付ける線を引くと良い。ミシンで縫い辛い場合や、縫い目が目立つと思う場合はまつり縫いでも OK。反対側も同じように縫う。

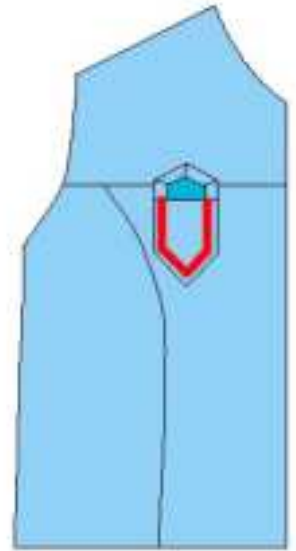


32. ポケットの一部をフラップの縫い代の上に重ねる。

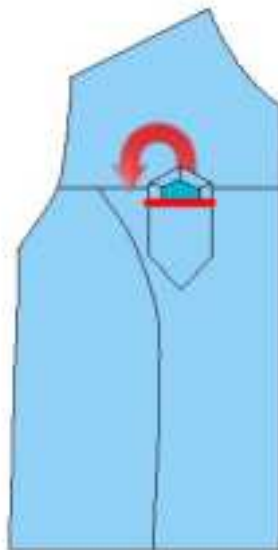
反対側も同じように重ねる。



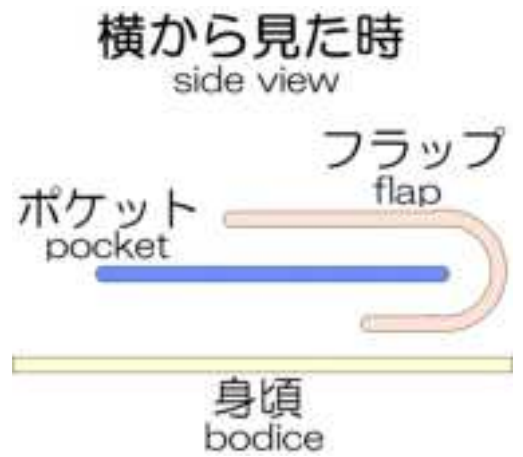
33. 前身頃にポケットを縫い付ける。  
〔反対側も同じように縫う。〕



34. フラップを折り返す。  
〔反対側も同じように折る。〕

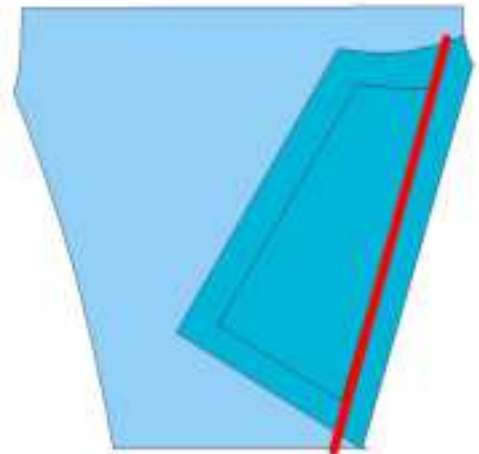
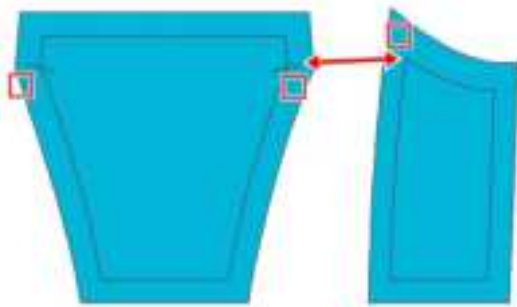


35. フラップを前身頃に縫い付ける。  
〔反対側も同じように縫う。〕




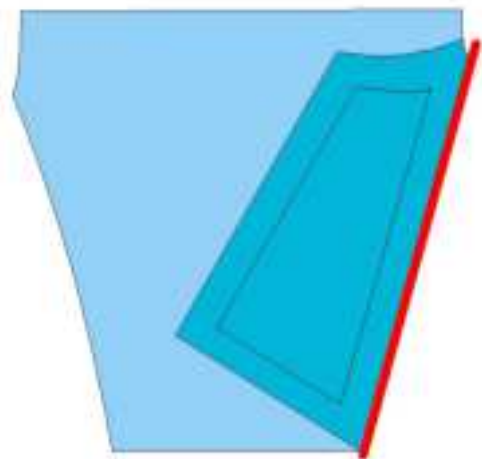
36. 表が内側になる様に、後身頃と後脇を合わせて縫う。

〔口同士を合わせる。  
反対側も同じように縫う。〕

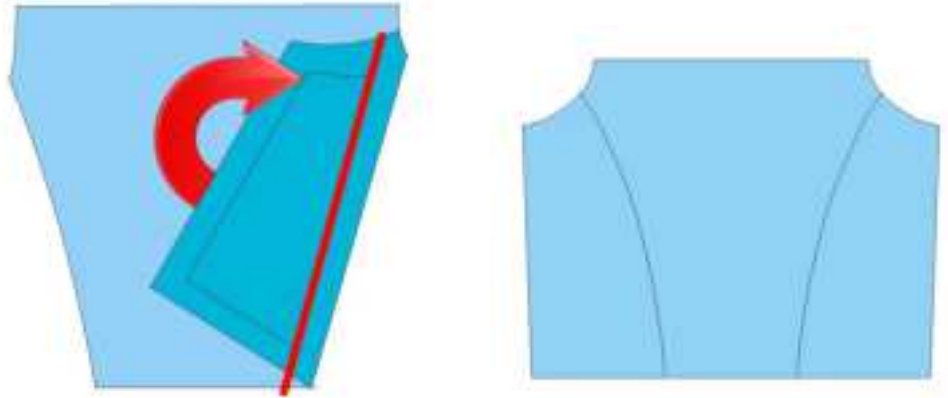


37. 2枚一緒にロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

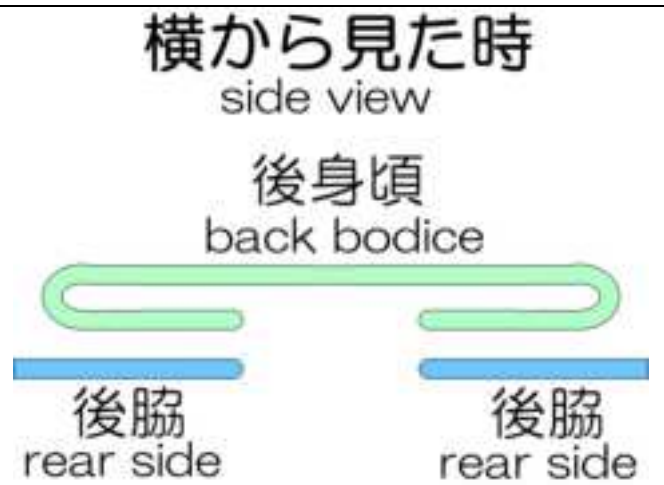
〔 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。  
布端から針が落ちない様に、少し内側を縫う。  
反対側も同じように縫う。〕



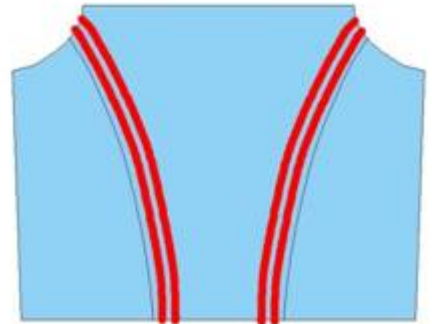
38. 36 で縫ったところを開く。  
 [ 反対側も同じように開く。



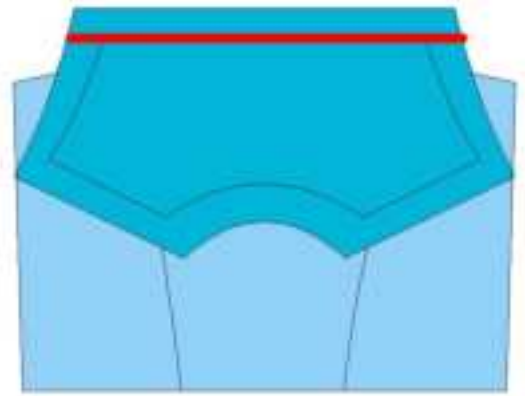
39. 縫い代を後身頃側に倒す。



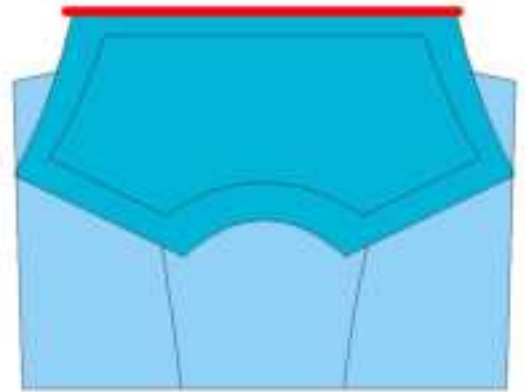
40. 表から縫い代を抑える様に縫う。  
 [この工程は省いても OK。省く場合はアイロンをかける。



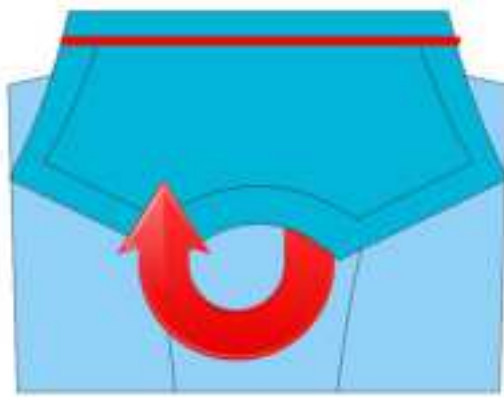
41. 表が内側になる様に、40 に後身頃上を合わせて縫う。



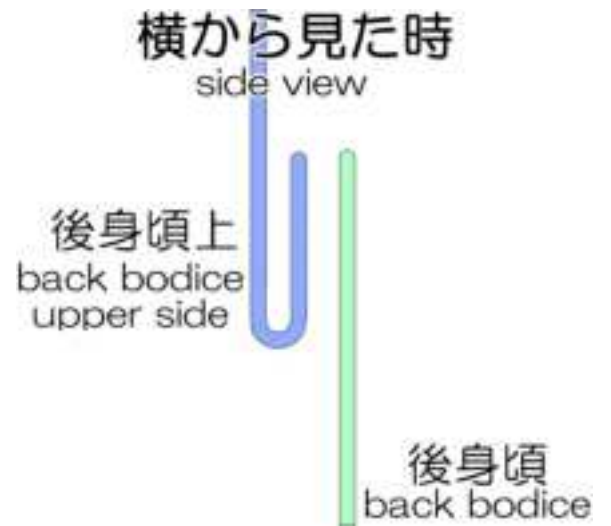
42. 2枚一緒にロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



43. 41 で縫ったところを開く。



44. 縫い代を後身頃上側に倒す。



45. 表から縫い代を抑える様に縫う。

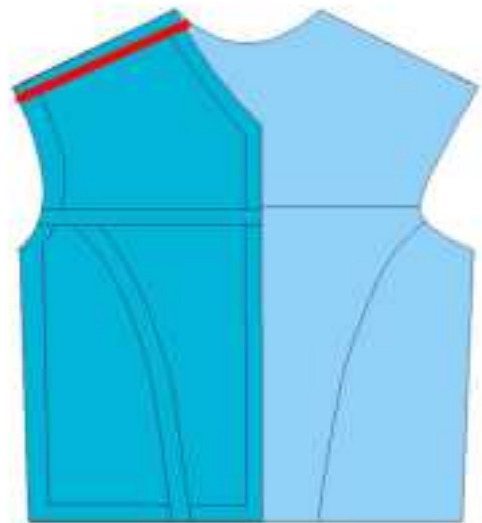
〔この工程は省いてもOK。省く場合はアイロンをかける。〕



46. 表が内側になる様に、

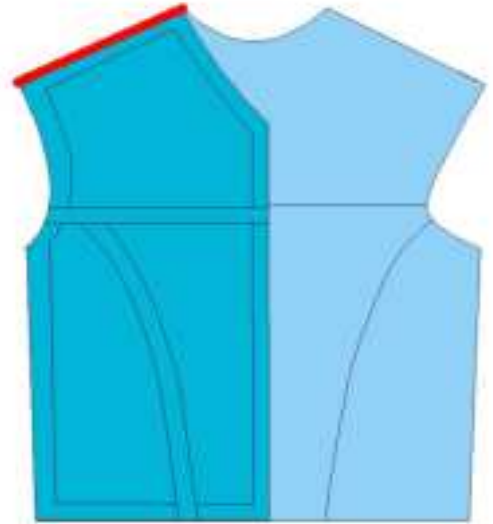
前身頃上と後身頃上の肩を合わせて縫う。

〔反対側も同じように縫う。〕

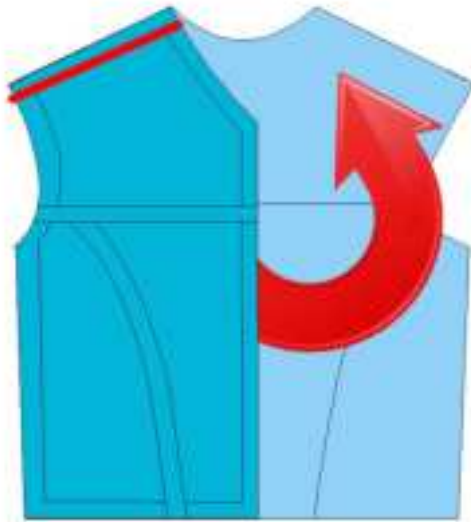




47. 2枚一緒にロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。  
〔反対側も同じように縫う。〕



48. 46で縫ったところを開く。  
〔反対側も同じように開く。〕



49. 縫い代を後身頃上側に倒す。

横から見た時

side view

後身頃

back bodice



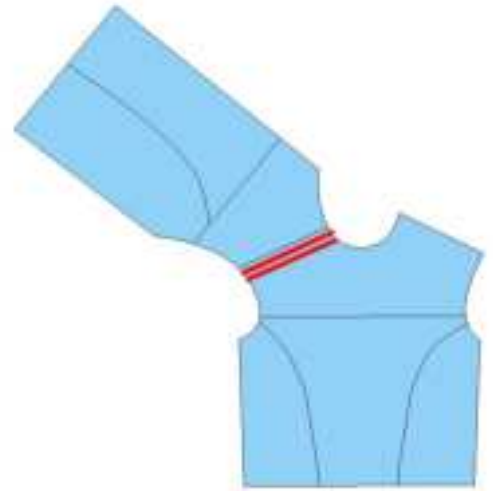
前身頃

front bodice



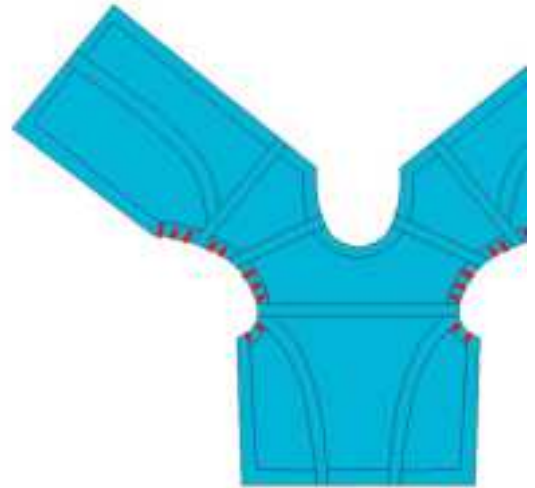
50. 表から縫い代を抑える様に縫う。

この工程は省いても OK。省く場合はアイロンをかける。  
反対側も同じように縫う。



51. 袖ぐりに切り込みを入れる。

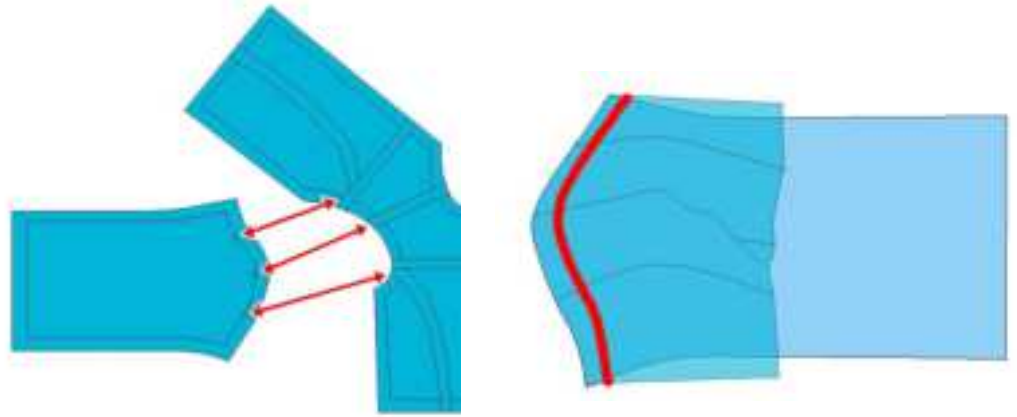
袖ぐり：袖を付ける為の身頃側のカーブ。  
ミシンで縫い辛い場合は先に仮縫いをするか、  
手縫いでも OK。



52. 表が内側になる様に、身頃と袖の SP を目印に合わせて縫う。

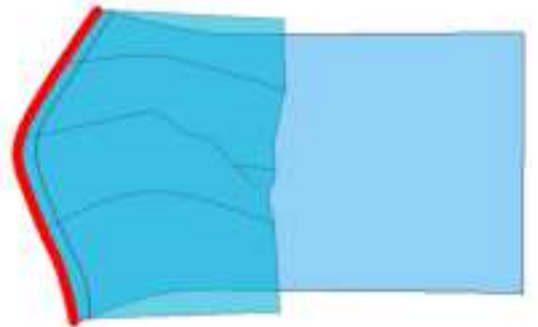
SP: ショルダーポイント。肩の頂点。  
反対側も同じように縫う。





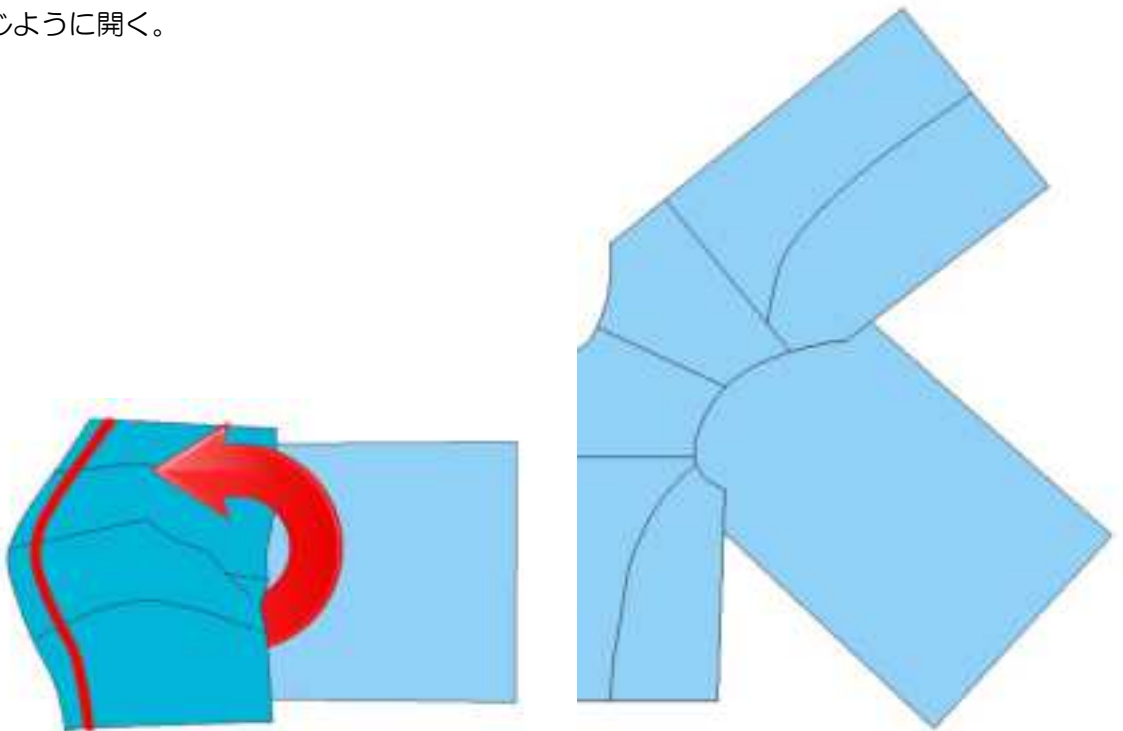
53. 縫い代にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 〔袖と身頃を一緒に縫う。
- 〔反対側も同じように縫う。

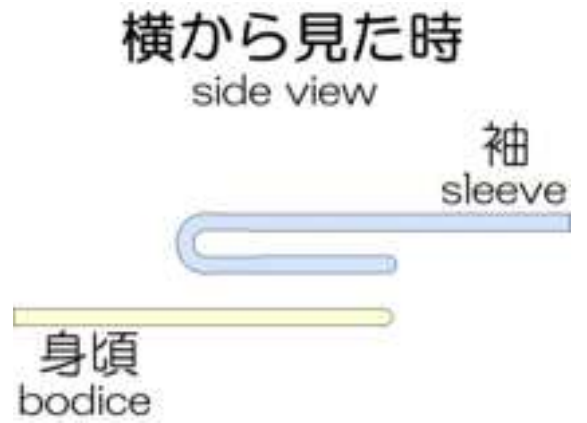


54. 52で縫ったところを開く。

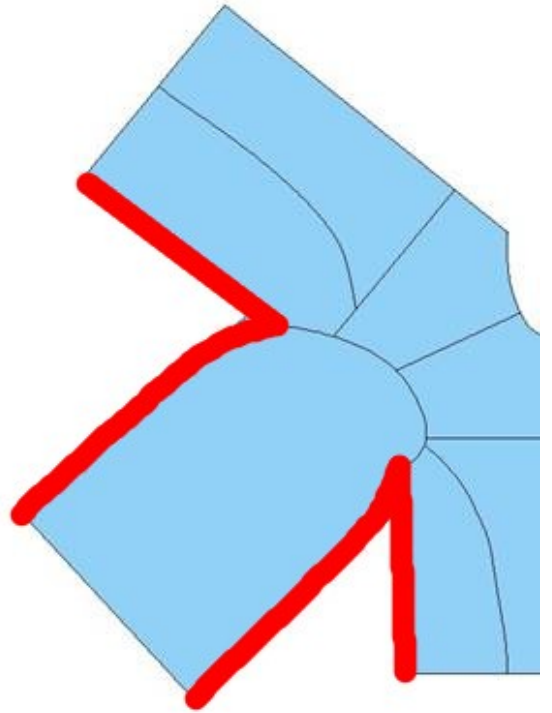
- 〔反対側も同じように開く。



55. 縫い代を袖側に倒してアイロンをかける。



56. 裾から袖口までにロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。  
〔 反対側も同じように縫う。〕



57. 半分に折る。

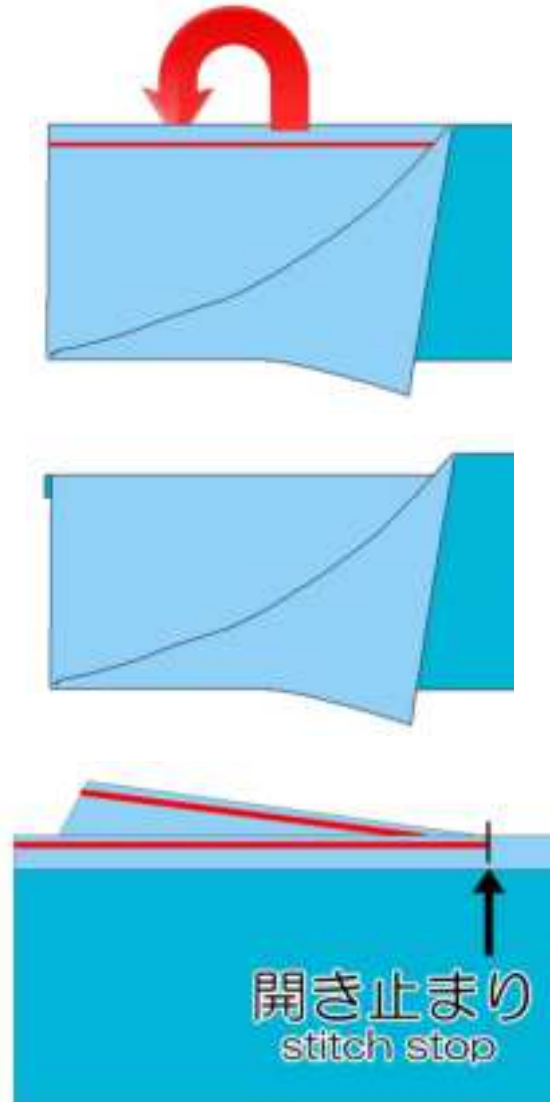


58. 袖開き止まりから、裾までを縫う。



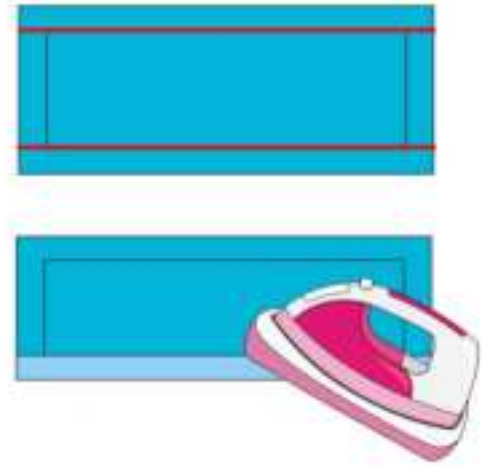
59. 袖口から開き止まりまでを縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕

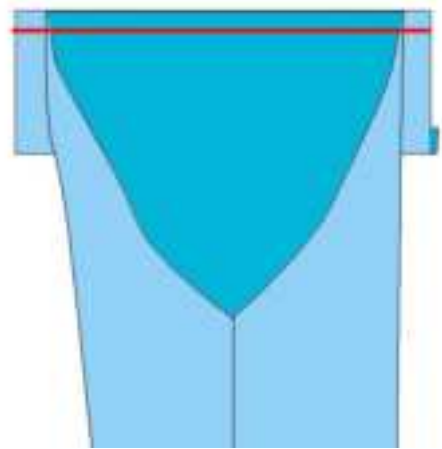


60. 表に返す。

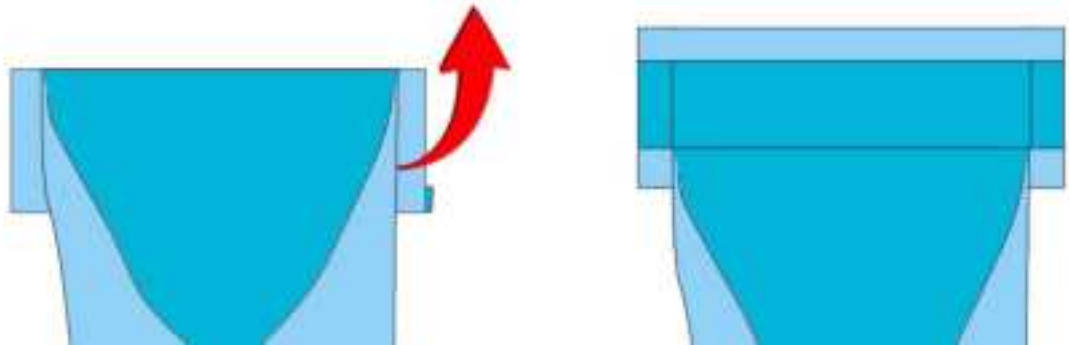
61. カフス×2の縫い代を折って、アイロンをかける。



62. 表が内側になる様に、袖口にカフスを合わせて縫う。  
〔 反対側も同じように縫う。〕

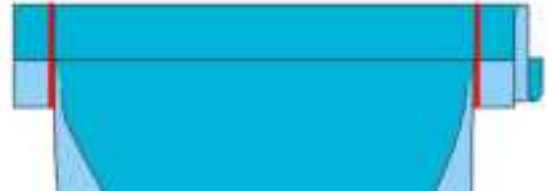


63. カフス×2を上に折り返す。



64. カフス×2を真ん中で折って、両端を縫う。





65. カフス×2 を表に返して角を優しく押し出す。



66. カフス×2 の端を縫う。

〔 “まつり縫い” でとしても OK。〕



67. 前立て×2 の縫い代を折って、アイロンをかける。



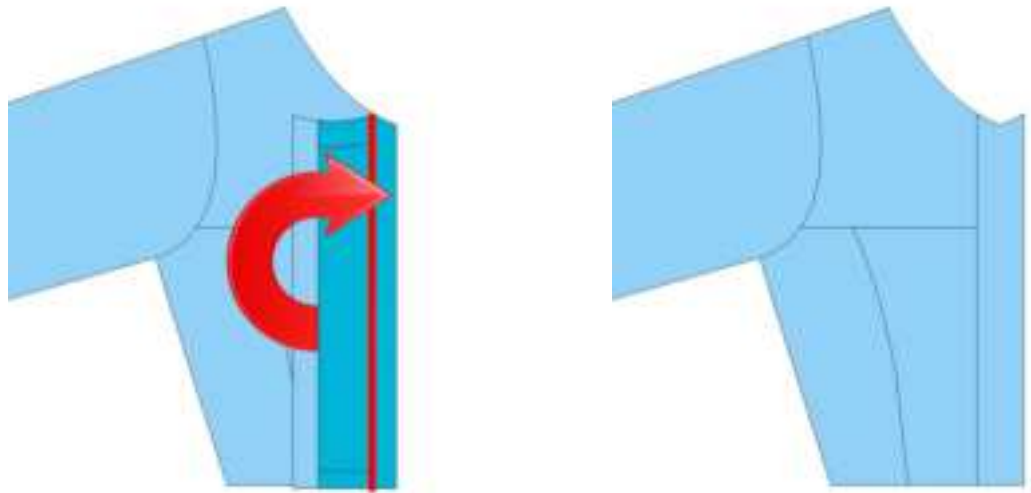
68. 表が内側になる様に、前身頃と前立てを合わせて縫う。

〔 前立ては、縫い代が平らな方が身頃の裾側になる。〕



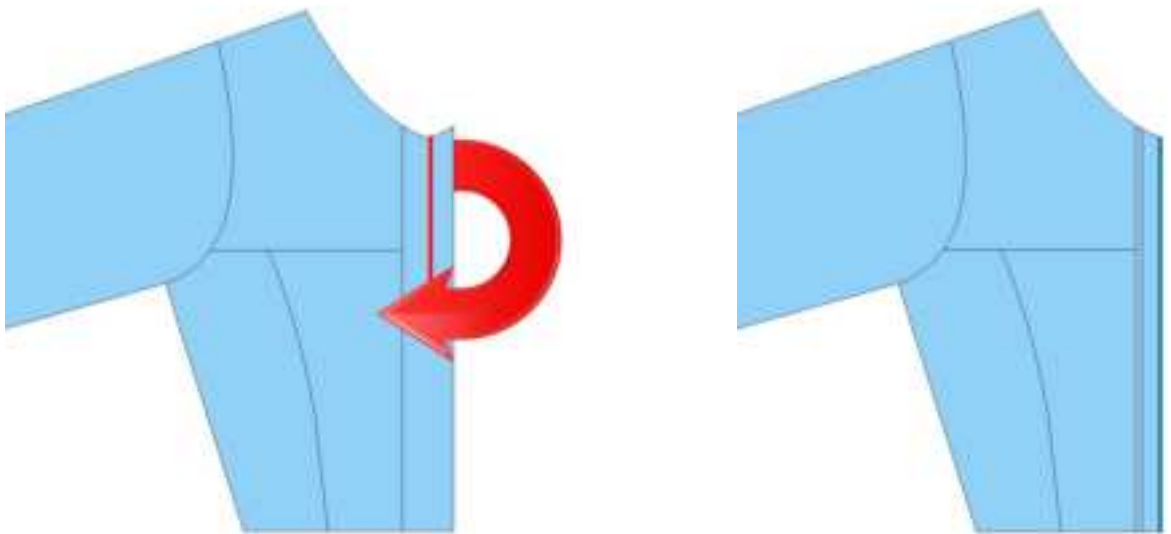
69. 前立てを折り返す。

〔 反対側も同じように返す。〕



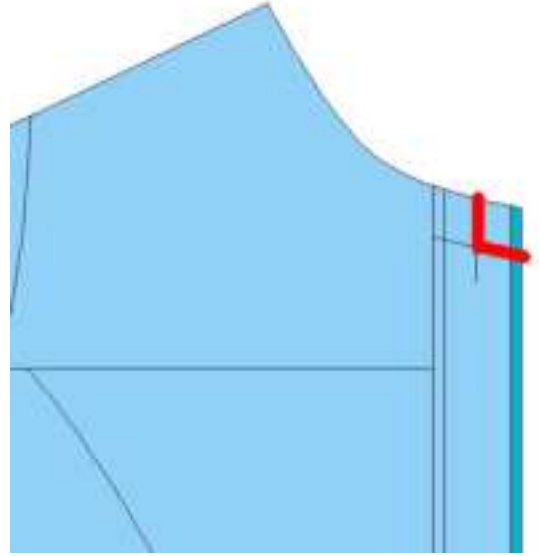
70. 前立てを真ん中で折る。

〔 襟側だけを縫うので、上半分だけ折っても良い。  
反対側も同じように折る。〕

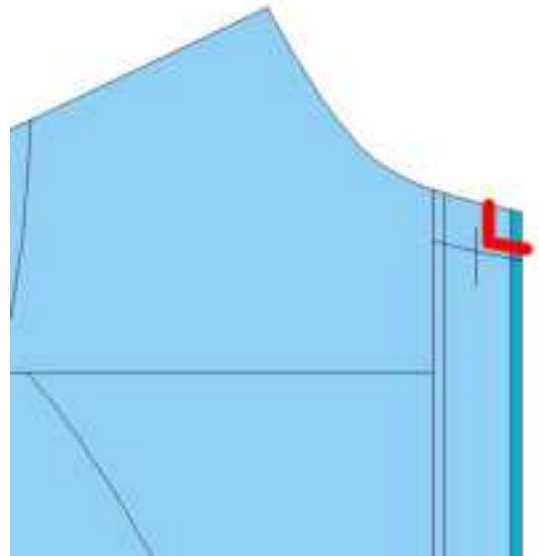




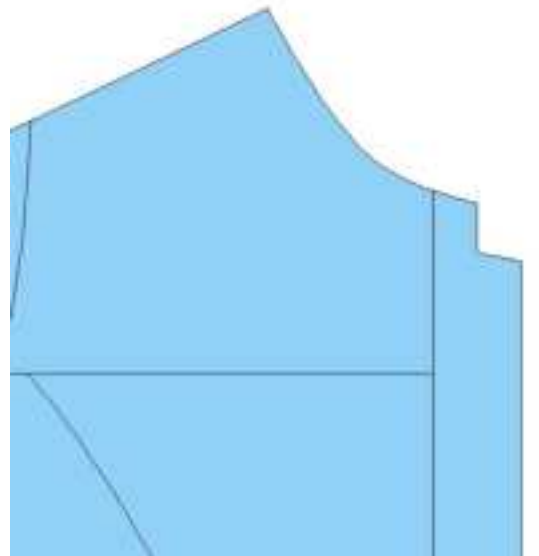
71. 襟側の前立て中央をL時に縫う。  
〔反対側も同じように縫う。〕



72. 襟側の角の縫い代をカットする。  
〔反対側も同じようにカットする。〕

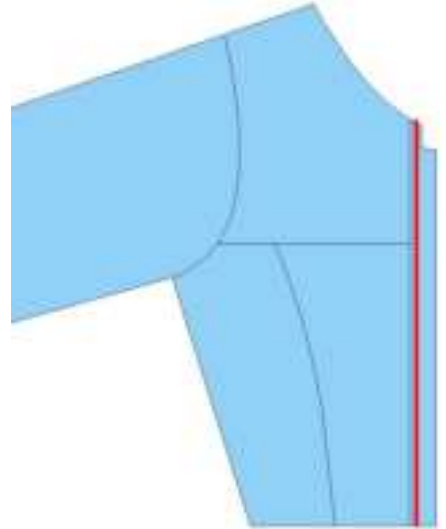


73. 前立てを表に返して角を優しく押し出す。  
〔反対側も同じように返す。〕



74. 前立ての縁を縫う。

〔 “まつり縫い” でとじても OK。  
 反対側も同じように縫う。〕

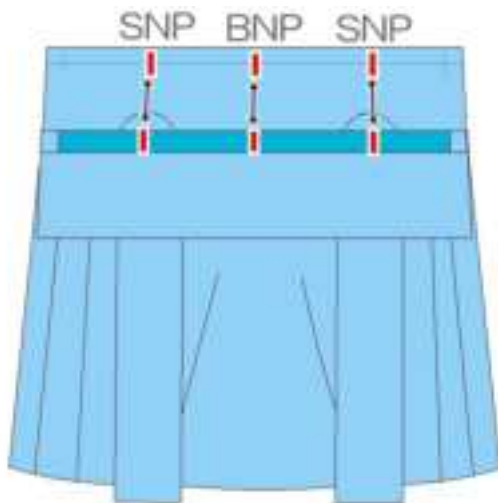


75. 襟ぐりに切り込みを入れる。



76. 表が内側になる様に、襟ぐりと襟を合わせる。

〔 身頃の SNP と襟の SNP、  
 〔 身頃の BNP と襟の BNP を合わせる。〕

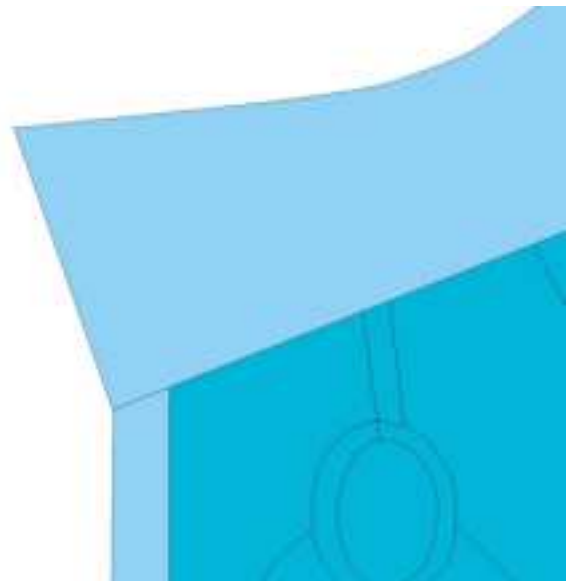
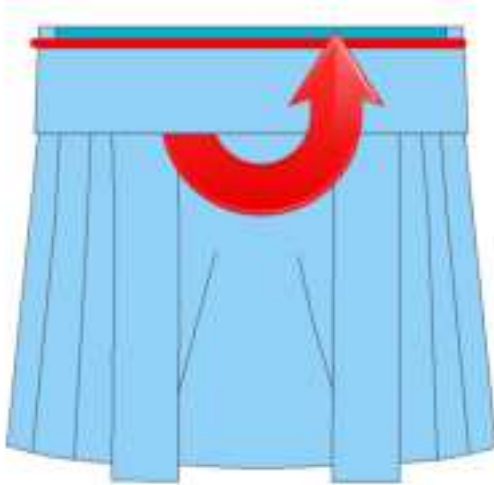


77. 合わせたところを縫う。

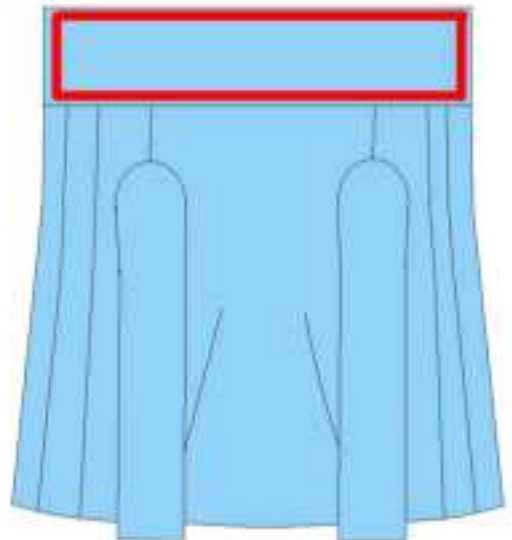
〔 ミシンで縫い辛い時は手縫いで OK。 〕



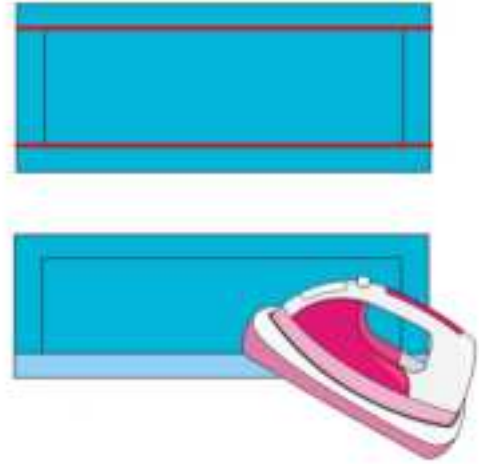
78. 襟を持ち上げて、縫い代を台襟の中に入れる。



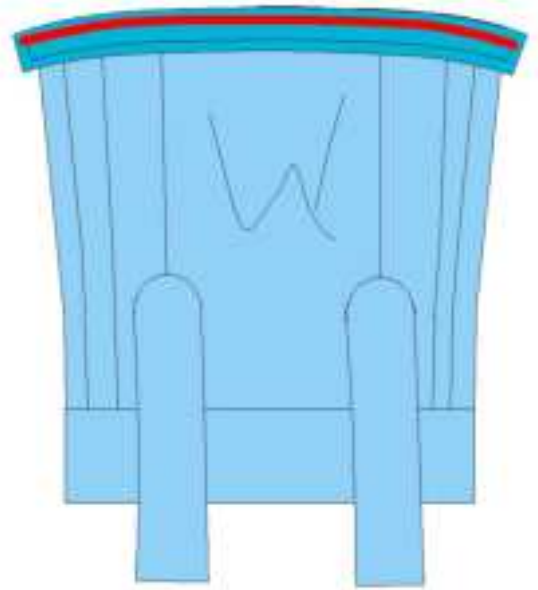
79. 襟の端を一周縫う。



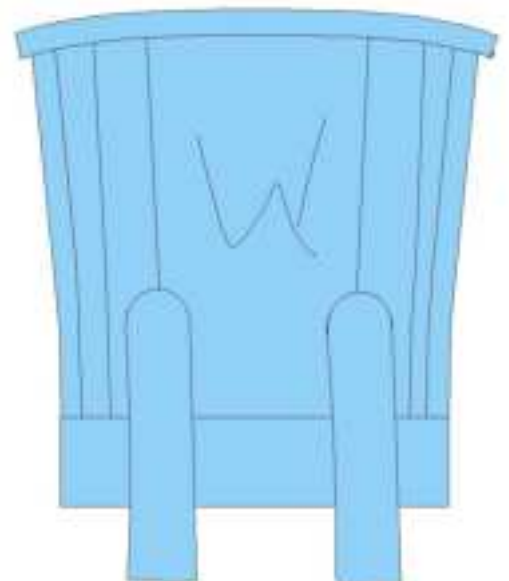
80. 裾パーツの縫い代を折って、アイロンをかける。



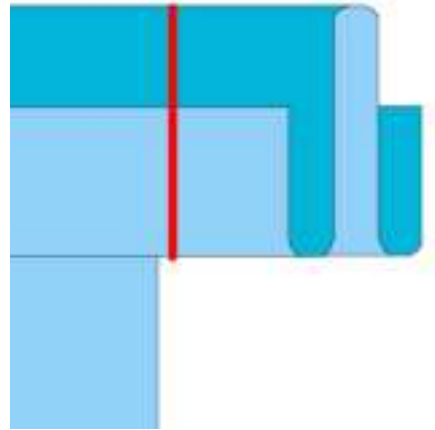
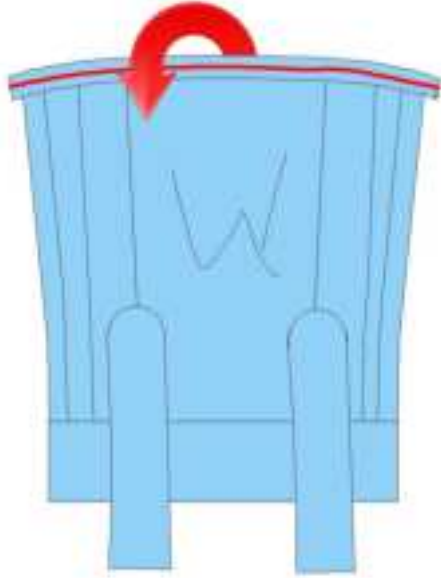
81. 表が内側になる様に、身頃に裾パーツを合わせて縫う。



82. 裾パーツを上に戻す。



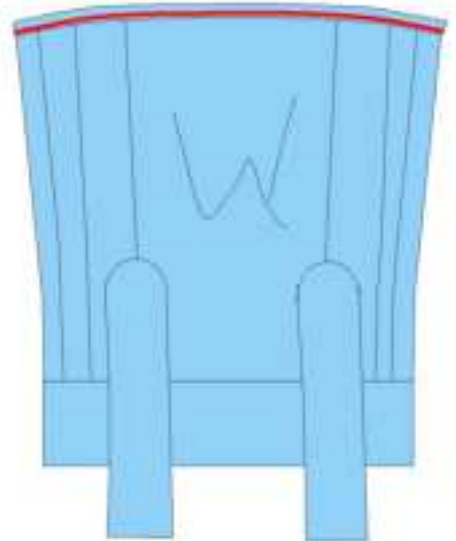
83. 裾部分を真ん中で折って、両端を縫う。



84. 表に返して角を優しく押し出す。

85. 裾部分の端を縫う。

〔 “まつり縫い” でとしても OK。〕



86. カフスと前立てに、スナップボタンと飾りボタンを付ける。

お疲れ様でした！